

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	968	特色ある学校教育推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
担当部課名	教育部 学校教育課		項	01	教育総務費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先	目	03	義務教育振興費
		22-9676	細目	102	児童生徒指導経費
			細々目	12	特色ある学校教育推進事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 市内全小中学校児童生徒	成果(どうなるのか) 豊かな人間性や自ら考える力をなどの「生きる力」が育成されるため、自分の将来に展望を持って毎日の生活を送ることができるようになります。		
本年度事業内容	各小中学校における特色ある学校教育			
開始年度	平成 14 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.56	0.14	0.14
	人件費合計(A)	4,032	1,008	1,008
	事業費(B)	21,811	20,520	18,468
②支出内訳(千円)	委託料	21,811	20,520	18,468
	その他			
	合計(A+B)	25,843	21,528	19,476
	③財源内訳(千円)			
特定財源	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		25,843	21,528	19,476
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
特色ある学校教育実施校数	校	38	38	38			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
学校の取り組みに対して、満足である評価を得た学校数	学校が実施している外部評価において、児童生徒や保護者の方々が、学校の取り組みに対して十分満足を感じている学校数を指標としました。	校	36 目標 ( 38 )	38	38
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市内の小中学校がそれぞれに自校の課題を把握し、地域の特色を考慮した特色ある学校づくりに取り組んでいます。たとえば、地域の方々に関わりをしたり、地域の達人をゲストティーチャーとして学校へ招いたりすることがあります。地域の歴史や文化を学ぶことで、地域を愛する子どもを育成することにつながっています。また、子どもたちの「生きる力」を育成するという観点で、確かな学力の向上を目標に教科学習の基礎基本の徹底して身につけるため、授業方法の工夫や到達度診断テストを実施しています。

評価	必要性	4	人権総合学習を進めるにあたって、子どもたちにとっては、様々な出会いや体験の機会が保障され、自らの生き方を深く考える授業づくりが実現できています。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		